

## 市民活動状況

市内NPO法人数	31 団体
当センター登録団体数	136 団体
当センター登録会員数	6,740人
11月来館者数	2,220人
11月印刷機利用枚数	55,320枚

## ひびき



発行枚数 650枚 メール配信 100団体

発行人 指定管理者NPO法人茨城県南生活者ネット 龍ヶ崎市市民活動センター長 田沼信之

龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。  
 会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコン・多目的室等(1階)や  
 大会議室・小会議室・パソコン室・和室・工作室(2階)・陶芸室(1階外倉庫隣り)がご利用いただけます。  
 開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで)2階各室は夜間も(午後10時まで)利用可能です。  
 休館日 = 月曜日および年末年始、特別に定める日  
 〒301-0004 龍ヶ崎市馴馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571  
 E-mail r-suwan@titan.ocn.ne.jp URL http://r-shimin.sakura.ne.jp/

## 今月のトップニュース

## センター長の「目指せ！市民活動日本一」その72

## 守破離

新年あけましておめでとうございます。

気持ちよくご利用いただくことを第一としています。今年も引き続きよろしくお願いたします。

さて、市民活動センターの利用者は年々増加し昨年度は発足以来、初めて前年度より減少しましたが、今年度は再び増加し、「V字回復」を達成する見込みです。

センタースタッフの働きがいを生み出すありがたい財産で、大切なものとして利用者の皆さんに感謝しています。

さて、昨年度 指定管理者の活動拠点である黄色い建物「コムハウス」にて元市民生活部長殿による「地域コミュニティの構築／アプローチした行政側からみえたもの、反省点」の講演会を拝聴した。

2011年からスタートした地域コミュニティの構築活動は氏の人生そのものであり、「人柄と情熱」が多くの龍ヶ崎市民を動かし、組織を創りだし、全国に誇れる市民活動を生み出しました。そして最後に6年目を迎えた課題を提言しました。

高齢化、過疎化が急激に迫るなかでコミュニティ活動が親睦を目的としたイベント型の組織から地域の課題を解決する組織へとの転換が求められているという。

「誰のために」「誰が」「何を」「いつまで」に対する「実現可能な実行計画の再構築」と「ボランティアが与えてくれる心の豊かさ」を求め、これまでの活動、つまり「守」から次の段階「破」に突入していると考察した。

又、「市民活動日本一」がもたらした活動の膨張がそれを支える行政職員やコミュニティーリーダーの「担い手不足」を必然的に生んでいる。やらされ感の拡大が生じてきたのである。

市民活動はあくまで「満足と自慢」への追及であり、より楽しく、作業を分かち合い、程よい加減であつさり、そこそこに満足への転換が求められる時が来ていると考察した。

つまりこれからは「構造改革」を……しかし、後退「満足のいく しんがり」は前進より遥かにむずかしい……。



## 茶の湯を楽しむ会発足！

「ポットとテーブルでお抹茶を！お手軽に！体験してみませんか？」

との募集にご覧の通り参加者が集まりました。初心者でも大丈夫。

これからも「楽しむ会」として、継続して活動することとなりました。

問い合わせ・申し込み

☎080-2001-8138 高橋。



## 第2回 常磐線沿線交流会への参加

龍ヶ崎市が掲げる「市民活動日本一」。龍ヶ崎市民活動センターは今、全国的にどの位置に存在し、何が不足して、何が誇れるものなのか？との素朴な疑問に答えを求めて、近隣センターとの第1回の交流活動を「つくばの友」とともに龍ヶ崎で立ち上げた。

今年は第2回目。メンバーは同じだったが各センターから情報収集の場へと活動の狙いが進化した。世話役のつくば市民活動センターの工夫があらわれた。好評を得た開催講座情報収集やシンポジウムへの参加要請や主催イベントの情報交換である。龍ヶ崎からは協働事業の実際や市政への構造改革提案他だった。さらに、市民活動全体が停滞方向に向かう潮目の変化を予測した。十数年前に市民の活力を行政に活用する施策(主にNPO活動)も高齢化と過疎化を迎え、精神論だけでなく、具体的な改善活動が迫られていると予測した。

次回は柏市が繋いでくれることになった。



## 「牛久沼水上クラブ」の皆さんの活動



牛久沼水上クラブ  
問い合わせ:090-2729-5799

牛久沼周辺の「感幸開発」が龍ヶ崎で注目を浴びる中、ウインドサーフィン、スタンドアップパドルボードを中心に水上スポーツや湖のボランティア清掃など様々な活動を展開している皆さんが市民活動センターに団体登録されましたので、その活動内容をインターネットライブで録画収録しました。

放送は市民活動センターホームページを参照してください。

出演者は海老原代表(日本ウインドサーフィン協会・安全委員)とクラブハウス経営の藤原代表。水上活動の楽しさや滞在、湖畔でのバーベキューの楽しさを存分に紹介していただきました。やったことない私でもワクワク…。

将来、「道の駅」から望む風景はさぞかし、さぞかし…。

会員募集中だそうです。

## 駒馬町、歩く歴史講座

今回の企画は市民活動センター前田副センター長による古い町並み駒馬町の史跡調査研究を基に、活動センター周辺を中心に歩きました。

日枝神社、常光院、国指定重要文化財の来迎院多宝塔、県指定文化財(史跡)駒馬城跡を經由。

最後は歴史民俗資料館館長(学芸員)による龍ヶ崎の古代の解説でした。とても奥深く、もう一度開催してもらいたいと思います。

歩く歴史講座。来年も期待してま〜す。



## お知らせ

「りゅうがさき市民活動フェアinサプラ」を2月16日(土)、17日(日)にショッピングセンターサプラで」開催します  
詳細は次号に掲載します

龍ヶ崎短歌会

コスモスと真弓 赤なごキア群をなし秋晴れの中家族と廻る  
俳聖の足跡尋ね宿場通り千住大橋間近に迫る

石渡 静夫  
松重 芳子